

## 2 本事業の実施記録

### 2.1 本調査の実施内容

- ・ 研究会 5 回（2013 年 9 月 18 日、10 月 11 日、10 月 30 日、11 月 15 日、2014 年 1 月 29 日）
- ・ ノウハウ移転先団体における評価の実践（2013 年 10 月 24 日～2014 年 2 月 26 日）
- ・ アドバイザーによるノウハウ移転先団体へのハンズオン支援（2013 年 10 月 24 日～2014 年 2 月 26 日）
- ・ 公開セミナー（2014 年 2 月 17 日）

なお、ノウハウを移転する中間支援組織の選定は、以下の視点で行い、①～④の 4 団体を選定した。

- 自らも専門家派遣やマネジメント支援を始めており、当法人のノウハウについて、既に一定の理解があり、移転ニーズがあること。
- 地域の他の中間支援組織に対して、波及効果の期待できる、実績のある中間支援組織。
- 本調査の必要性について共感し、ノウハウ移転の手法を当法人と共に確立する意欲をもっていること。

#### ① NPO法人 杜の伝言板ゆるる

##### 【主たる活動】

みやぎNPOプラザの指定管理、情報発信、ネットワーキング、人材育成、マネジメント支援、被災地復興。

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-11-6 コーポラス島田 B-6

TEL: 022-791-9323 / FAX: 022-791-9327

URL: <http://www.yururu.com>

#### ② 一般社団法人 Bridge for Fukushima

##### 【主たる活動】

被災地復興活動支援。福島市・相馬市・南相馬市・新地町を対象にコミュニティビジネス支援、女性や子どもたちの活動支援。

〒960-8031 福島県福島市栄町 6-5 南條ビル A 館 3 F

TEL: 080-4002-0047

URL: <http://bridgeforfukushima.org/>

#### ③ NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会

##### 【主たる活動】

藤沢市市民活動推進センターの指定管理、ネットワーキング。

〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢 1031 小島ビル 2 F

TEL: 0466-54-4510 / FAX: 0466-54-4516

URL: <http://www.center.f-npon.jp/>

④ 特定非営利活動法人（以下、「NPO法人」） 東海道・吉原宿

【主たる活動】

ふじのくにNPO活動センターの指定管理、まちづくり。

〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 2F

TEL: 054-260-7601 / FAX: 054-260-7603

URL: <http://fnc-shizuoka.net/>

## 2.2 研究会の実施

ノウハウ移転先である4つの中間支援組織、アドバイザー、及び本調査の業務従事者が参加し、5回の研究会を開催した。

第1回～第5回の研究会を通して、組織評価ツールである「NPOマネジメント診断シート」の改善点や組織評価の活用方法等について、中間支援組織やアドバイザーからの意見収集、及びディスカッションを行い、診断シートの改善に役立てた。

第2回、第3回の研究会では、ノウハウ移転先団体に対して、組織評価（診断）のノウハウを伝えるための研修に時間を割いた。

また第4回の研究会においては、成果評価の手法のひとつであるSROI<sup>1</sup>を紹介し、非営利活動団体等<sup>2</sup>の社会的インパクトの評価方法を理解するための研修を行った。

第5回の研究会はノウハウ移転先団体が評価の実践を行った後に実施した。ノウハウ移転先団体より、評価の実践報告を行い、評価のプロセス、成果、組織評価の活用方法、課題等を共有した。

各研究会の配布資料は本編資料編「1 研究会配布資料」に記載する。

### ■第1回研究会…実施計画の策定

実施日	2013年9月18日
参加者	●ノウハウ移転先団体 大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる） 小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima） 手塚 明美（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会） 千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿） ●アドバイザー 榎 ひさ恵（パブリックリソース財団 評議員） 山崎 富一（同 評議員）

<sup>1</sup> SROI : Social Return on Investment(SROI)とは、NPOや社会的企業等が行う社会的活動の社会的価値を計量的に評価する参加型評価のフレームワークである。成果評価の一類型であり、事業の単なる実施結果（アウトプット）ではなく、事業が実際に社会に与えた影響（アウトカム）を重視すべきであるという前提に基づくものである。

<sup>2</sup> NPO法人、社会福祉法人、公益法人、任意団体、非営利株式会社等をふくむ

	<p>田口 由紀絵（同 チーフ・プログラムオフィサー）</p> <p>江口 聡（同 客員研究員、しみん基金KOB E事務局長）※スカイプ参加</p> <p>●業務従事者</p> <p>岸本 幸子（同 専務理事）</p> <p>畑谷 圭子（同 プログラムオフィサー）</p>
議題	<p>①メンバー紹介</p> <p>②調査の目的と進め方</p> <p>③診断シートの紹介及び協議</p> <p>④団体・地域の状況について</p> <p>⑤ 後の予定</p>
実施内容	<p>当財団が開発・運用してきた、非営利活動団体等の組織評価、及び事業評価のツールや方法論を紹介した。</p> <p>また、評価ツールのひとつである「NPOマネジメント診断シート」について、地域のNPOを評価する際にそぐわない設問や言葉遣いがないかという視点でディスカッションを行った。具体的な修正案については、次回の研究会までに各自が検討してくることとした。</p> <p>さらに、各団体・地域のNPOの状況について共有し、評価の実践を行う際に評価対象とするNPO等の選定方法についてすり合わせを行った。</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダ</li> <li>・ 「評価の実践」の流れ（案）</li> <li>・ スケジュール</li> </ul>

#### ■第2回研究会…ノウハウ移転に関する研修（1）

実施日	2013年10月11日
参加者	<p>●ノウハウ移転先団体</p> <p>大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる）</p> <p>小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima）</p> <p>手塚 明美（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</p> <p>千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿）</p> <p>●アドバイザー</p> <p>槇 ひさ恵（パブリックリソース財団 評議員）</p> <p>山崎 富一（同 評議員）</p> <p>江口 聡（同 客員研究員、しみん基金KOB E事務局長）</p> <p>田口 由紀絵（同 チーフ・プログラムオフィサー）</p> <p>●業務従事者</p> <p>岸本 幸子（同 専務理事）</p> <p>畑谷 圭子（プログラムオフィサー）</p>
議題	①診断シートの改訂に関する検討

	②診断プロセスに関する研修 ③今後の予定
実施内容	<p>評価ツールのひとつである「NPOマネジメント診断シート」の改善点について、修正案等の意見出し及びディスカッションを行った。</p> <p>また事務局は、ノウハウ移転先4団体に対して、組織診断の具体的方法論を理解するための研修を行い、組織診断を行う際に必要となる書類やツールを提供した。</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダ</li> <li>・ 組織診断ご協力のお願い</li> <li>・ 診断先の団体にご提出いただく書類</li> <li>・ 組織診断計画表</li> <li>・ 組織診断について</li> </ul>

### ■第3回研究会…ノウハウ移転に関する研修（2）

実施日	2013年10月30日
参加者	<p>●ノウハウ移転先団体</p> <p>大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる） 小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima） 手塚 明美（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会） 千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿）</p> <p>●アドバイザー</p> <p>榎 ひさ恵（パブリックリソース財団 評議員） 山崎 富一（同 評議員） 江口 聡（同 客員研究員、しみん基金 KOBE 事務局長） 田口 由紀絵（同 チーフ・プログラムオフィサー）</p> <p>●業務従事者</p> <p>岸本 幸子（同 専務理事） 畑谷 圭子（同 プログラムオフィサー）</p>
議題	<p>①診断シートの改訂に関する検討</p> <p>②診断プロセスに関する研修</p> <p>③評価対象となる団体について</p> <p>③ 後の予定</p>
実施内容	事務局は、ノウハウ移転先4団体に対して、組織診断の具体的方法論を理解するための研修、及びウェブによるNPOマネジメント診断シートを活用するための操作方法について研修を行った。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダ</li> </ul>

### ■第4回研究会…ノウハウ移転に関する研修（3）

実施日	2013年11月15日
-----	-------------

参加者	<p>●ノウハウ移転先団体</p> <p>大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる）</p> <p>小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima）</p> <p>手塚 明美（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</p> <p>生田 光弘（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</p> <p>千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿）</p> <p>●アドバイザー</p> <p>榎 ひさ恵（パブリックリソース財団 評議員）</p> <p>山崎 富一（同 評議員）</p> <p>江口 聡（同 客員研究員、しみん基金 KOBE 事務局長）</p> <p>田口 由紀絵（同 チーフ・プログラムオフィサー）</p> <p>●パブリックリソース財団</p> <p>岸本 幸子（同 専務理事）</p> <p>畑谷 圭子（同 プログラムオフィサー）</p> <p>鈴木 祥三（同 プログラムオフィサー）</p>
議題	<p>①移転先団体における、評価の実践のための準備に関する進捗報告</p> <p>②「SROIを用いた社会的事業評価」非営利組織の社会的インパクト評価モデル、成果志向の事業計画（社会的成果指標の設定方法）</p> <p>③組織診断ウェブシステムの使い方</p> <p>④アドバイザーのマッチング</p> <p>⑤今後の流れの確認</p>
実施内容	<p>ノウハウ移転先団体における、評価の実践準備に関する進捗報告を行った。</p> <p>また、事務局より「SROIを用いた社会的事業評価」の方法論を紹介しつつ、非営利組織の社会的インパクト評価モデルや成果志向の事業計画（社会的成果指標の設定方法）等の研修を行った。</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジェンダ</li> <li>・ 成果志向の事業計画</li> <li>・ SROIを用いた社会的事業評価</li> </ul>

■第5回研究会…ノウハウ移転に係る課題の整理

実施日	2014年1月29日
参加者	<p>●ノウハウ移転先団体</p> <p>大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる）</p> <p>小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima）</p> <p>手塚 明美（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</p> <p>生田 光弘（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</p> <p>千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿）</p> <p>●アドバイザー</p>

	榎 ひさ恵 (パブリックリソース財団 評議員) 山崎 富一 (同 評議員) 江口 聡 (同 客員研究員、しみん基金 KOBE 事務局長) 田口 由紀絵 (同 チーフ・プログラムオフィサー) ●パブリックリソース財団 岸本 幸子 (同 専務理事) 畑谷 圭子 (同 プログラムオフィサー)
議題	①評価のプロセス、成果、課題等について ②評価したNPOからの、評価結果の妥当性や評価プロセスの効率性に対するフィードバック ③ディスカッション
実施内容	ノウハウ移転先団体が評価の実践報告を行い、評価のプロセス、成果、組織評価の活用方法、課題等を共有した。
配布資料	・ アジェンダ

### 2.3 ノウハウ移転先団体における評価の実践

移転先である4団体は、アドバイザー及び当財団のサポートのもと、地域で活動しているNPO等から1団体を選定し、評価ツールを利用した評価を実施、その結果をまとめた。

本調査では、4団体による評価の対象となった団体からもフィードバックを得て、ノウハウの移転について検証や改善を行う参考とした。

移転先の各団体が実施した評価の実践の概要は以下の通りである。

#### ① NPO法人 杜の伝言板ゆるる

評価対象団体名 : NPO法人グループゆう

評価対象団体参加者数 : 7名 (内理事5名)

評価団体面談回数 : 5回 (11/17、11/26、12/19、1/25、3/8)

#### ② 一般社団法人 Bridge For Fukushima

評価対象団体名 : NPO法人 虹色の樹

評価対象団体参加者数 : 3名 (内理事2名)

評価団体面談回数 : 6回 (10/25、11/18、12/25、1/9、1/23、2/15)

#### ③ NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会

評価対象団体名 : 認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット

評価対象団体参加者数 : 6名 (内理事3名)

評価団体面談回数：5回（12/2、12/28、1/6、1/16、1/22）

④ NPO法人 東海道・吉原宿

評価対象団体名：NPO法人 クロスメディアしまだ

評価対象団体参加者数：3名（理事3名）

評価団体面談回数：5回（10/24、12/17、1/9、1/17、2/26）

## 2.4 アドバイザーによるノウハウ移転先団体へのハンズオン支援

ノウハウ移転先団体が評価の実践を行うにあたり、当財団のノウハウについて熟知し、組織評価及びNPOへのマネジメント支援の実践経験を持つものをアドバイザーとして派遣し、ハンズオン支援を行った。

アドバイザーは、評価設計、実施、報告の3つの段階で移転先団体に出向き、あるいはメールや電話で支援を行い、評価活動のサポートを行った。アドバイザーが派遣された団体は以下のとおり。

榎 ひさ恵（担当団体：NPO法人 森の伝言板ゆるる）

山崎 富一（担当団体：一般社団法人 Bridge For Fukushima）

田口由紀絵（担当団体：NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）

江口 聡（担当団体：NPO法人 東海道・吉原宿）

## 2.5 公開セミナーの開催

移転先の4つの中間支援組織や当財団、及び移転に際し研修や支援を行った関係者等が参加する公開セミナーを開催した。概要は以下の通りである。セミナーの詳細は、本編資料編「2 公開セミナーの記録」に記載した。

実施日	2014年2月17日
会場	女性就業支援センター（東京都港区）
参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>●ノウハウ移転先団体</li><li>大久保 朝江（NPO法人 杜の伝言板ゆるる）</li><li>小沼 亮（一般社団法人 Bridge for Fukushima）</li><li>生田 光弘（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会）</li><li>千野 和子（NPO法人 東海道・吉原宿）</li><li>●アドバイザー</li><li>榎 ひさ恵（パブリックリソース財団 評議員）</li><li>山崎 富一（同 評議員）</li><li>江口 聡（同 客員研究員、しみん基金 KOBE 事務局長）</li></ul>

	<p>田口 由紀絵 (同 チーフ・プログラムオフィサー)</p> <p>●パブリックリソース財団</p> <p>岸本 幸子 (同 専務理事)</p> <p>畑谷 圭子 (同 プログラムオフィサー)</p> <p>鈴木 祥三 (同 プログラムオフィサー)</p> <p>河合 哲朗 (同 客員研究員)</p> <p>横田 麻梨 (同 スタッフ)</p> <p>宮田 夏希 (同 スタッフ)</p> <p>●一般参加者 24名 計 38名</p>
内容	<p>①本事業の概要報告</p> <p>②ワークショップ：診断シートを使ってみよう！</p> <p>③公開ディスカッション</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案内チラシ</li> <li>・ NPOの信頼性向上のために中間支援組織ができること</li> <li>・ ワーク用診断ツール</li> </ul>

